

1. 新型コロナウイルス感染拡大の防止

(1) 保育所等への支援

【質問】

新型コロナウイルスの感染拡大の状況が「第3波」と言われるまでに急速に拡大している現状で、長崎市は、保育所等へどのような支援を行っているか。また、現場がいま何を必要としているか把握しているか。

【答弁】

新型コロナウイルス感染防止のための保育所等への支援は、マスクの配布、消毒液の優先発注、国の補助金を活用して消耗品や備品等の購入費用や、時間外勤務手当などのかかり増し経費の助成を行っている。購入実績としては、マスク、消毒液、石鹼液、空気清浄機等、施設の実情に応じて利用されている。その他、国からの通知を分かりやすく整理して提供したり、感染者が発生した場合の市独自の方針を示すなど、積極的な支援に努めている。

1. 新型コロナウイルス感染拡大の防止

(2) 小中学校への支援

【質問】

長崎市は、小中学校へどのような支援を行っているか。また、現場がいま何を必要としているか把握しているか。

【答弁】

新型コロナウイルス感染防止のための小中学校への支援は、予備費を活用してマスク、消毒液、非接触体温計など必要な物品の確保と提供に努めた。また、国の補助金を活用して換気用サーキュレーター、サッシ窓の交換、トイレ水道蛇口のセンサー化を進めている。その他、50万円から100万円の予算を配当して、学校長の判断で必要な物品を購入してもらうための支援に努めてきた。

2. 避難所の安全対策

(1) 避難所の屋外トイレ

【質問】

2017年2月議会での一般質問に対して、「避難者が屋外トイレに行く場合の安全対策は、配慮が必要な方には避難所勤務要員が付き添っている。教育委員会、学校と協議して受け入れ場所を校舎に変更したり、校舎を追加するなどして、避難者の安全性や利便性を確保している。」と答弁しているが、台風10号での指定避難所調査では、「トイレが屋外」ということが、避難所運営に当たって支障になったと報告されている。

「トイレが屋外」という件はすでに解決しているはずだが、なぜこのような報告があったのか。これまで避難所の整備として何を行ってきたのか。

【答弁】

避難所の安全対策については、2018年度にトイレが屋外にあるすべての学校を対象に、特別教室等を避難スペースとして活用できるか調査したが、調整が進んでおらず、再度調整を図っている。今後も学校や教育委員会と協議し、避難スペースの変更や臨時的な使用について調整を図っていく。

2. 避難所の安全対策

(2) 避難所となっている学校体育館の雨漏り

【質問】

学校は、避難所である前に子どもたちの学びの場であるにもかかわらず、体育館の雨漏りが「避難所運営に支障がある」と報告があっているが、教育委員会の対応はどうだったのか。

【答弁】

避難所となっている学校体育館の雨漏りについては、9校あったと報告されている。そのうち今回の台風による被害で雨漏りしたのが5校で、残り4校は台風前から雨漏りしていた。この4校については台風前に修繕し、いったん雨漏りは止まったが今回の台風で再度雨漏りした。あとの5校のうち1校は、大規模改修が必要で年次計画で工事を行う予定だった。

2019年度の学校からの修繕要望に対する実施件数は93.2%で、概ね対応できている。今年9月の台風被害は216件で、危険なものを最優先に修繕を行っている。

3. 行政改革

(1) 市民サービスの向上に係る検証についてです。

【質問】

これまでの行政改革で直営から委託等を行った市民サービスが、市民生活に与える影響の長崎市の検証結果はどのようなものか。

【答弁】

行政改革による市民サービスの向上に係る検証について、公の施設の指定管理や中央地域センターでの事務委託では、「丁寧な対応で快適に利用できる」、「フロアマネージャーの配置で案内がわかりやすくなった」など、高い評価を得ている。そのほか、業務委託で出た経済効果を事業拡充や新規事業の財源に振り向けて市民に還元している。

4. 男女共同参画

(1) 男性の育児休業取得の促進

【質問】

国の男性の育児休業の取得促進に向けた新たな仕組みづくりの検討を受けて、長崎市独自の政策を何か進める考えはないか。

【答弁】

国は、第4次男女共同参画基本計画で2020年度までに男性の育児休業取得率を13%にするとしているが、2019年度の実績は7.4%である。

長崎市では、男女共同参画社会の実現に向け、「ワーク・ライフ・バランスと共同参画の促進」を掲げ、企業に対しては誰もが働きやすい環境づくりを実践している企業を「男女イキイキ企業」として表彰し、市民に対しては家事や育児を積極的に行っている著名な男性を講師に招いた講演会を実施している。また、男女共同参画推進センターで男性の家事・育児への参加を推進する講座を開催している。